

## 学校教育自己診断の結果と分析 [平成28年12月実施分]

### 【学習指導等】

- ・第一志望の進路実現のため生徒の学力向上・教員の授業力向上を重点目標に掲げた。アクティブラーニングや観点別評価に関する教員研修も実施し、生徒がより主体的に学ぶ授業づくりをめざした。生徒の授業内容についての肯定的な回答は昨年より7ポイント向上し74%であった。また「授業の工夫をしている先生が多い」という質問の肯定回答は5ポイント向上の72%であった。一方教員の「生徒の力をしっかりと伸ばすことができている」の肯定回答は6ポイント減少の72%であり、授業力向上について一層の研鑽が求められる。
- ・教員の「学習意欲の高い生徒に対する取り組みが全校的に行われている」が昨年同様62%の肯定率であった。「到達度の低い生徒に対する指導」の肯定率が70%であることに比べ低い値となっている。全体のレベルアップのためにも学習意欲を喚起し、意欲の高い生徒に対するサポート体制の確立が急がれる。

### 【生徒指導等】

- ・生徒の「基本的生活習慣の確立に力を入れている」「学校生活においてルールやマナーを守っている」の肯定回答はいずれも91%で、生徒は概ね学校の生徒指導方針を理解し守ろうとしている。また保護者の「学校の生徒指導の方針は納得できる」の肯定率も90%と高く、保護者の協力を得やすい状況であることが確認された。
- ・教育相談体制の充実を掲げているが、生徒の「悩みを相談できる先生がいる」の肯定回答は55%（昨年56%）にとどまっている。全教員がカウンセリングマインドを持って指導に当たることの重要性を改めて認識するとともに、組織的な生徒相談体制を推進しなければならない。

### 【学校運営】

- ・危機管理対応として年間2回の防災避難訓練を計画していたが、予備日も含め悪天候のため実施できなかった。生徒アンケートでも「地震・火災・事件などが起こった場合、どう行動したらよいか知らされている」の肯定回答が昨年の83%から78%に減少している。安全で安心な学校生活を過ごすためにも、避難訓練だけでなく他の機会をとらえての危機管理意識の醸成に努めることが課題である。
- ・教職員アンケートの「学校運営に教職員の意見が反映されている」が29ポイント向上した。これを契機に日常的な情報共有や自由な雰囲気での意見交換を通して、すべての教職員が学校運営に積極的に参画し、より良い学校づくりをめざす。